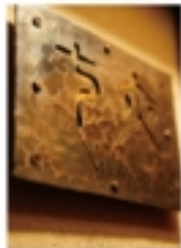




「箱根の山とひとびと」にだけ合うような大浴場「月代」。



## 箱根吟遊 箱根での上質な異空間 非日常の癒しに身をゆだねる



露天風呂と内風呂を備えたオープンエアのリビング(月タイプ)の一角。1泊まったく過ごしたくなる。

**DATA** **MINI FACT**  
 箱根国定公園下箱根温泉街 / 〒1100-1  
 ☎ 0460-82-3355  
 月タイプ / 1泊2食付11名40,000円〜  
 箱根国定公園温泉街 / 下箱根から徒歩2分  
<http://www.fukonoginya.co.jp/>

何度か訪れている箱根でも、いろいろな風景が、ここに広がる空間は「初めての箱根」との出会いをもたらす。一瞬にして人の心をつかんでしまう。

その名の通り「箱根吟遊」箱根湯山を見渡す新築に立ち、目に飛び込んでくるパノラマは、パリの内務部の建築家リゾット、ウブドのよう。建築家の館内には、自然素材によるアジアテイストのインテリアやアートがほどよく調和し、必要以上に明るすぎない、光と影を感じる空間が、日常とは異なる穏やかな安らぎを生みだしてくれる。

ガラス張りのエレベーターで降りていく最上級の客室は、100㎡近い広さ有面積をもつ「月タイプ」。1階に位置する分、深い木々に覆われた、自分だけのシッカリな隠れ家を見つけたような気分を体験できる。別荘は、振りこたつ式のダイニングと読書の秘密、板張りの広々としたテラス。露天風呂と内風呂の両方が備わるテラスにはソファを配し、リビングとしての機能も、透明な風呂の中に置かれた内風呂は、露天と変わらない開放感で、寒い季節や雨天時などでも楽しめる。空に近い最上階の露天風呂で、空のひとときを堪能できる。編み「月代」(時空帯)による男女入浴禁止制)にも、ぜひ足を運んでほしい。



広々としたテラスを備え、秘密の隠れ家のような滞在が楽しめる(月タイプも参照)。

# 至極上の空間でのひととき

心地よい風が頬をなでる、旅に最適なシーズンの到来。大切な人との時間や特別な記念日、自分へのご褒美に、いつもよりちょっとせいたくなく箱根ステイはいかがでしょう。一度は泊まってみたい、あの憧れのゲストルームがあなたをプレミアムなひとときへと誘います。



モダンな器を彩るのは高貴を感じる創作料理。



風呂にいいという自家温泉が注ぐ露天風呂(上)。夕食は、奥の庭園を穿入した切り庭から採石料理を家庭で作り、家族のサイズも豊富(右下)。エントランスは敷上階の縁にあたる(左下)。



ナチュラルで落ち着く空間の露天風呂付き和洋室。

## 小田急 ホテルはつはな ホテルと旅館の美点が融和 細やかなもてなしが心地よい

美湯本の自然に調和する、温のあるエントランスが迎えこくくれる「ホテルはつはな」。その前身は、芦ノ湖畔に立つ名門リゾート、「山のホテル」の和風別荘というだけに、ホテルの機能性に和のくつろぎと心配りがほどよく融和。宿営れた大人の女性や、外国人旅行者からも高く評価されている。

この宿でよりぜひに、より快適にステイするなら、露天風呂付き和洋室に泊まるといい。部屋スペースは約65㎡(手前)に畳コーナーを設けたリビング、暖心地よく、体に負担をかけないようベッドルームを配し、飯沼渓谷を間近に望むテラスには、自家温泉が注ぐ陶器の露天風呂。鳥のさえずりを聞きながら、美湯によいとされる朝自慢の名湯を、湯気蒸ねなく楽しめる。床には保温性・抗菌性に優れた竹のフローリング、畳には目が細かく肌触りのよい日除きを揃ふなど、心地よい滞在のための工夫が凝らされている。

さり気なく置かれたジエリートレイ、服数用意するナイーセットのお茶など、細やかな心配りは、開業以来20年間テーマに掲げる「女性にやさしい宿」ならではの、それはすなわち、誰が訪れても快適な朝の起床でもある。敷か自然に臨みつつ、交通アクセスに恵まれていることも大きな魅力だ。

DATA **予約 F&T**  
 所在地 東京都足立区新倉 1-10-1  
 TEL 0480-85-7321  
 露天風呂付き和洋室 / 1泊2食付1名19,000円〜  
 温泉室10名様専用和洋室付から温泉旅館並1泊2食付1名100  
<http://www.odakyuhotel.co.jp/taisubana/>



巨大な大涌谷の景観に調和するデザインを採用して建て替わった大涌谷観光センター（完成イメージ）。「黒たまご」のコンセプトと、世界遺産となった富士山を背景に記念写真が撮れる「黒たまご広場」も登場する。



木の温もりが感じられる、優しい空間の案内。秋まき掛けの天井は開放感たっぷり（完成イメージ）。



噴熱と火山ガスの化学反応を利用して作られる「黒たまご」は、自然由来の健康地と富士山が隣りなす効果は、ジオサイトに認定された大涌谷ならではだ。

人と自然にやさしい世界的観光地へ  
さらなる挑戦を始めます

箱根 master of hakone  
の達人 vol.3

箱根観光 大涌谷観光センター  
代表取締役社長

石村 隆生さん



profile  
長年、箱根観光に尽力の、株式会社箱根観光センター代表取締役社長石村隆生さん。箱根観光地に加え、箱根芸術劇場、箱根動物園、箱根の社長美術館、温泉は「仕事には癒し、人にゆずり」の理念が詰まっています。

歴史や人とのかわわりを興味深く学べる大涌谷の公園「箱根ジオパーク」。その中核となる大涌谷は、このほど世界遺産登録された富士山を望む世界的な観光地でもある。

「大涌谷は3000年も噴煙を上げていたエネルギーな場所。残っているときには力をもらえろ」とは、大涌谷観光センターのトップ、石村隆生さん。その施設は現在、来年1月の建て替えオープンに向け着々と準備が進められている。新スタイルで営業するレストランやショップでは、女性向けに独自アイテムの展開を予定。箱根町が運営する「（仮称）火山学習センター」を併設し、太陽光発電も導入。ゴミの排出量削減などに努める国際規格を取得するなど、「人と自然にやさしい」施設を目指す。

「名物『黒たまご』は、大地の恵み、食べれば、生命のパワーもみなぎります」。石村さんの、「大涌谷を語るすべての人に元氣になってもらいたい」という思いと、新たな挑戦が、新しい大涌谷の歴史を刻んでいくに違いない。

大涌谷観光センター

神奈川県足柄下郡箱根町仙石産 1261  
☎0460-84-9005  
営業時間 10時～17時  
箱根ロープウェイ大涌谷駅から徒歩1分  
http://www.owakurama.com/

MAP P44

